



# あさひ台

学 校 報  
第 5 1 8 号  
R5. 12. 22  
五 城 目 小 学 校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子  
～ つなぐ ひらく つくる ～

## つなぐ ひらく つくる

「つなぐ ひらく つくる」は、学校教育目標の副題です。この言葉には次のような思いを込めています。

- ・つなぐ … 学校と地域を、人と人を、学校の歴史を、地域の文化をつなぐ
  - ・ひらく … 自分たちの未来を、学校を地域に、学校の歴史をひらく
  - ・つくる … 可能性や夢を、学校と地域の新たなつながりを、学校の歴史をつくる
- 「つなぐ」について、本校が実際にどのようなことを行っているのか紹介します。

### <地域学校協働活動>

地域住民の参画を得ながら、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を進めるための仕組みです。登下校時の見守り、校内の装飾、図書修理、読み聞かせ、家庭科の学習支援など、様々な活動に対する地域の方の支援を、地域コーディネーターが調整しています。本校では平成 21 年度に学校支援地域本部事業を開始し、社会教育法の改正に伴って平成 29 年度から地域学校協働活動として活動を継続しています。地域と学校をつなぐ大きな土台であり、多い年でのべ 800 人以上の方が子どもとつながってくださいました。登下校時の見守りや読み聞かせなどは、この組織が整う以前から行われている活動です。

### <みんなの学校>

地域に開かれた学校を目指す取組として、生涯学習課が実施している事業です。五城目小学校に誰もが気軽に集い、新たな学びや人とのつながりが生まれる場となることを目指しています。講座の中には小学生が授業で学ぶ内容もあり、学校を地域にひらくことはもちろん、子どもたちが地域住民とつながりながら学ぶことで学習を深めることもできます。11 月 24 日開催の 6 年生「ごじょうめで世界一周」中間発表会では、参加された地域の方から感想や助言をいただき、自分たちの発表を見直すことができました。

### <関係機関との連携>

「心の学び」（障害理解学習）は、県立特別支援学校（学校天王みどり学園、視覚支援学校、聴覚支援学校、秋田きらり支援学校）の協力を得て令和 2 年度から全学年で実施、「いのちの学び」（応急手当教育）は、町消防本部の事業として令和 2 年度から小・中学校全学年で実施しています。ハバタク株式会社は 6 年生及び 4 年生の総合的な学習の時間に、山内番楽保存会は 3 年生の総合的な学習の時間にそれぞれ支援してくださっています。県環境と文化のむらは 1 年生、町内の各施設は 2 年生が、生活科でお世話になっています。

ここにあげた事例のほかに、今年度は JICA 海外協力隊が 5 年生と、ブラウブリッツ秋田選手会の皆さんが 6 年生とつながりました。4～6 年生のクラブ活動の指導者はすべて地域の方々です。多様なつながりが、子どもたちの見方や考え方をひらき、新たな夢や可能性をつくる、そう考えています。

（校長 島崎 徳之）

## P T A 授業参観の様子から



12月8日（金）に今年度3回目のP T A授業参観が行われました。親子での学習を行う学年も多く、校内に明るい声が響きわたりました。子どもたちのがんばる姿をたくさんの保護者の皆様にご覧いただき、子どもたちも充実感いっぱいの表情でした。

今年度最後のP T A授業参観は令和6年2月14日（水）です。また、たくさんの保護者の皆様にはらしていただけるよう、よろしくお願いたします。



## いのちの教育

### あったかエリア事業から

今年度、「いのちの教育あったかエリア事業」を通して、思いやりの心と生命を尊重する気持ちを重点的に育ててきました。学校菜園で植物のお世話をしたり、道徳科で生命について考えたり、あいさつ運動で相手意識をたかめたりと様々な取組を行ってきました。子どもたちがこれらの運動に積極的に参加し、仲間意識を高めていくことができるように、缶バッジを作り、子どもたち一人一人に配っています。取組も一段落しましたので、缶バッジを家庭に持ち帰ります。ご家庭で自由にご活用ください。

